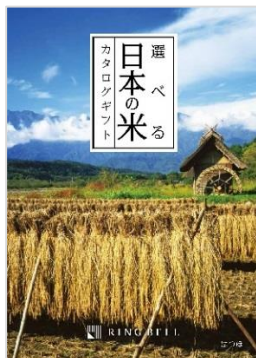


## 日本全国の米どころから選び抜いた約 33 種から選べる お米専門カタログギフト「選べる 日本の米 カタログギフト」 3 コース 11 月 1 日(火)新発売



リンベル株式会社(以下リンベル、本社:東京都中央区、代表取締役社長:東海林 秀典)は、「選べる 日本の米 カタログギフト」3 コースを開発。日本全国の米どころから選び抜いた、平成 27 年度特 A 米、特別栽培米を多数ラインナップし、11 月 1 日より販売を開始します。

「選べる 日本の米 カタログギフト」は 3,000 円、5,000 円、10,000 円の 3 コース(システム料 600 円および税別)。各コース約 40 点のお米(ご飯のお供約 10 点含む)を揃えました。掲載するお米の 8 割以上が特別栽培米であり、一般的に作られている慣行米と比較して、化学合成農薬と化学肥料の使用量は半分以下。併せて全体の 6 割は平成 27 年度に特 A 地区の最高評価を受けたものです。さらに通常の官能検査とは別に外部機関(株式会社サタケ 穀物分析センター、株式会社味香り戦略研究所)へ食味官能試験の実施を依頼。商品ページにはお米の味わいや香り、硬さ、粘りなどが分かる検査結果チャートを付け、各銘柄の特徴を分かりやすく説明しています。美味しさと安心・安全が揃ったお米を、精米から 1 週間以内に全国の生産地から産地直送でお届けします。

カタログの巻頭には 16 ページ分の特集記事も掲載。お米の歴史から栽培方法、美味しいご飯の炊き方まで、お米の豆知識を紹介しています。また、日本の原風景である棚田衰退の危機・再生を支援するため、国内 3 ヶ所(山形・大蔵、新潟・安塚、山口・長門)の棚田米も紹介。それぞれの支援団体に売り上げの一部を寄付する取り組みも行います。巻末には、ご飯の美味しさを引き立てる「ご飯のお供」商品も掲載。自社のオリジナルグルメギフト「極みシリーズ」を中心にラインナップしました。

日本政策金融公庫 農林水産事業が平成 28 年 1 月に実施した平成 27 年度下半期消費者動向調査によると、「米」などの農林水産物をネット通販で購入したことがある消費者は約 3 割。購入未経験者も、今後「購入してみたい」が約 3 割を占めています。またネット通販で購入する理由では、「店頭まで買いに行く必要がなく楽だから」、「そこでしか購入できないものがあるから」が高い割合を示しています。さらに、ネット通販で商品を販売する業者に期待することとして「生産者や商品の情報をもっと提供してほしい」という意見が多く見られました。

自社カタログギフトでも、お米は常に商品引き換えの上位に入っており、上述のニーズを満たすのがまさに「選べる 日本の米 カタログギフト」です。お歳暮・お中元、株主優待などの法人ギフトでの利用を見込んでいます。

「選べる 日本の米 カタログギフト」は、11 月 1 日(火)、リンベルの公式ホームページにて販売を開始します。全国有名百貨店、量販店での展開も予定。ギフトを通じて日本の米文化を応援します。

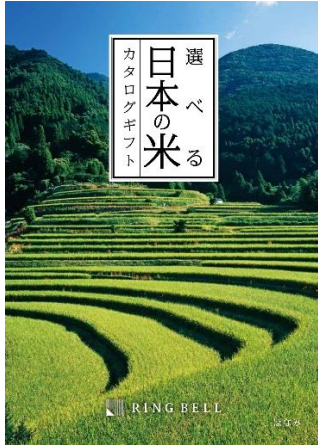
—— 本件に関するお問い合わせはこちらまで ——

《報道関係の方からのお問い合わせ先》  
《お客様からのお問い合わせ先》

03(3246)1145 広報宣伝 : 番藤・上田  
03(3246)1122

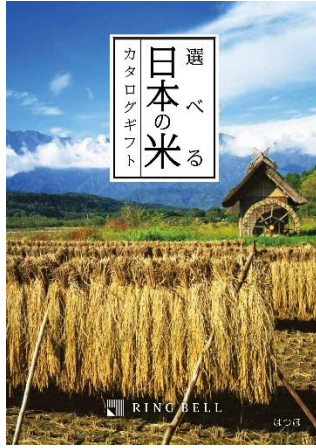
■ 「選べる 日本の米 カタログギフト」 コース概要 ※版形:B5 タテ

ほなみコース



税抜価格 3,600 円  
 (本体 3,000 円+システム料 600 円)  
 60 ページ/約 40 点掲載

はつほコース



税抜価格 5,600 円  
 (本体 5,000 円+システム料 600 円)  
 60 ページ/約 40 点掲載

あきほコース



税抜価格 10,600 円  
 (本体 10,000 円+システム料 600 円)  
 60 ページ/約 40 点掲載

■ カタログ掲載一例



有機栽培とは  
 有機栽培米、特別栽培米のいずれにも含まれない。農業・化学肥料ともに慣行的に使用して栽培されたお米のことです。

特別栽培米とは  
 平成四年(一九九二年)一月一日に発布された農水省のガイドラインに基づいて栽培されたお米です。そのガイドラインは以下の通りです。

■化学合成された農薬の使用回数  
 が、当該地域の慣行期において当該農産物に慣行的に行われている回数の五割以下であること

■化学肥料の使用量が、当該地域の慣行期において当該農産物に慣行的に行われている使用量の五割以下であること

つまり、その地域で一般的に行われている慣行と比較して、化学合成農薬と化学肥料の使用量が半以下であるということになります。これには、それぞれ使われている慣行と比較して、慣行の半分以下の使用回数と、慣行の半分以下の使用量とが求められています。

特別栽培米とは  
 平成四年(一九九二年)一月一日に発布された農水省のガイドラインに基づいて栽培されたお米です。そのガイドラインは以下の通りです。

■化学合成された農薬の使用回数  
 が、当該地域の慣行期において当該農産物に慣行的に行われている回数の五割以下であること

■化学肥料の使用量が、当該地域の慣行期において当該農産物に慣行的に行われている使用量の五割以下であること

つまり、その地域で一般的に行われている慣行と比較して、化学合成農薬と化学肥料の使用量が半以下であるということになります。これには、それぞれ使われている慣行と比較して、慣行の半分以下の使用回数と、慣行の半分以下の使用量とが求められています。

Chapter 3

### 有機栽培と特別栽培

お米に表示されている「特別栽培米」という表記は、特別栽培米と有機栽培米の両方を指します。特別栽培米は、平成四年(一九九二年)一月一日に発布された農水省のガイドラインに基づいて栽培されたお米です。そのガイドラインは以下の通りです。

■化学合成された農薬の使用回数  
 が、当該地域の慣行期において当該農産物に慣行的に行われている回数の五割以下であること

■化学肥料の使用量が、当該地域の慣行期において当該農産物に慣行的に行われている使用量の五割以下であること

つまり、その地域で一般的に行われている慣行と比較して、化学合成農薬と化学肥料の使用量が半以下であるということになります。これには、それぞれ使われている慣行と比較して、慣行の半分以下の使用回数と、慣行の半分以下の使用量とが求められています。

有機栽培とは  
 有機栽培米、特別栽培米のいずれにも含まれない。農業・化学肥料ともに慣行的に使用して栽培されたお米のことです。

特別栽培米とは  
 平成四年(一九九二年)一月一日に発布された農水省のガイドラインに基づいて栽培されたお米です。そのガイドラインは以下の通りです。

■化学合成された農薬の使用回数  
 が、当該地域の慣行期において当該農産物に慣行的に行われている回数の五割以下であること

■化学肥料の使用量が、当該地域の慣行期において当該農産物に慣行的に行われている使用量の五割以下であること

つまり、その地域で一般的に行われている慣行と比較して、化学合成農薬と化学肥料の使用量が半以下であるということになります。これには、それぞれ使われている慣行と比較して、慣行の半分以下の使用回数と、慣行の半分以下の使用量とが求められています。

有機 JAS マークについて  
 「有機 JAS マーク」は、農林水産省と国土交通省が共同で認定している「有機 JAS マーク」です。これは、農産物の JAS 規格に認定された生産者が付与するもので、このマーク表示のない農産物は「有機 JAS マーク」ではありません。このマーク表示のない農産物や生産者についてお問い合わせください。

特別栽培農産物とは	特別栽培農産物		慣行レベル
	不常用	七割以下慣行	
化学肥料の窒素成分	不常用	特別栽培農産物	慣行レベル
	五割以下慣行	特別栽培農産物	慣行レベル
	慣行レベル	特別栽培農産物	慣行レベル

巻頭の特集記事では、お米の歴史や栽培方法、美味しいお米の炊き方などについて、ガイドブック形式で紹介。

